

平成26年度専門指導員派遣事業アンケート集計結果

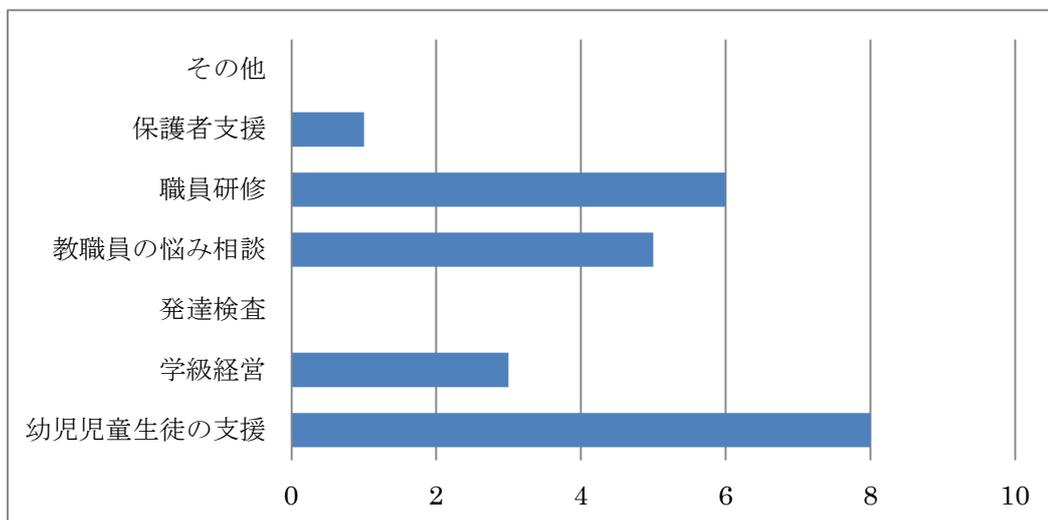
岡山県健康の森学園支援学校

今年度、専門指導員派遣事業を活用された学校園等からご回答いただいたものをまとめました。

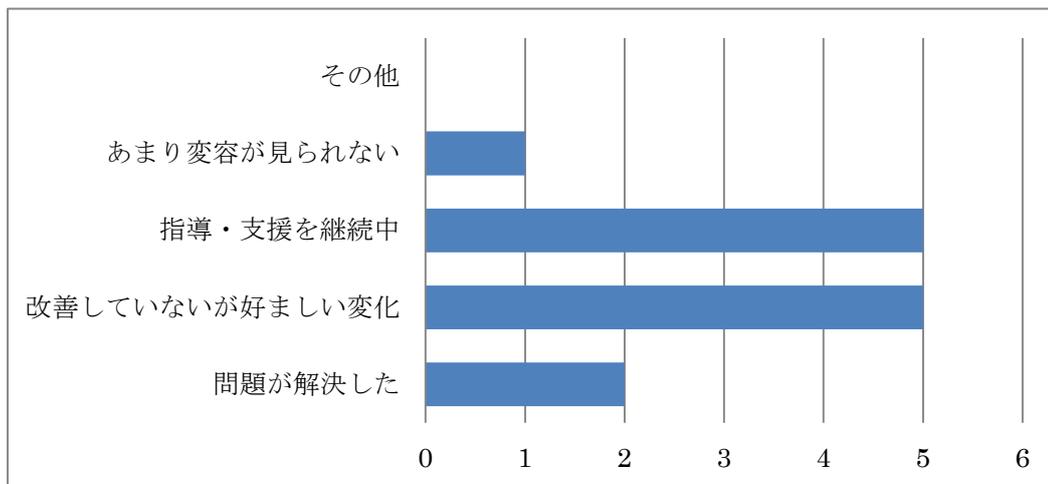
今年度相談件数：16回（12校）

1 専門指導員派遣事業の内容についてお答えください。

(1) 何について相談を依頼しましたか。（複数回答可）



(2) 本事業活用後の取組で、ケースはどのようになりましたか？



(3) 専門指導員派遣事業を活用されて、幼児・児童生徒を指導・支援する上でどのような内容が役立ちましたか。(ヒントになった) ことをお書きください。

【小学校】

- 話せなくても、取り組みやすい課題や場面設定をするなど、対象児童にとって安心できる雰囲気作りをすること。
- 支援学級児童への接し方、具体的な支援の方法を指導していただき役に立った。
- 児童にとってふさわしい学習環境について見直すことができた。
- 無理に動きを止めようとするのではなく、動くことを利用して「どう動かすか」を考えることで、自分の心にゆとりができた。また、そうすることで児童との信頼関係が強まった。
- 教室環境や声のかけ方について具体的に教えていただきとても参考になった。
- 「認知」「記憶」等の視点を明らかにして児童理解をするようにしたので、その後の指導に生かせた。
- 専門的な視点から具体的なアドバイスをいただき、担任だけではなく全職員の意識が高まり、声かけの仕方が変わってきた。甘やかすのではなく、適切に支援し、自立させようという声かけになってきた。
- 自分でできることは自分でできるようにしておくことが、社会に出てからも役に立つことがわかった。
- 指示は、簡潔にして、できるまで待つようにした。

【中学校】

- 支援内容について、今現在において必要であり実施可能なことを具体的に助言していただいた。特に、意味づけの手立てとして、本人がオープンスクールに参加できたことが、進路に向けての一步として大きな成果となった。この事業を受けていなければ前進は見られなかったと思っている。
- 性教育全般の進め方と参考図書や教材を教えていただいた。
- 教職員全員で研修会を実施することで、在籍特別支援学級の生徒や新入生の特性と具体的なスキルを共通理解することができた。以下、特にヒントになったこと。
 - ・ 支援計画、指導計画の作成上のポイント（保護者と一緒に考える等）
 - ・ 支援のコツ（練習してできるようになることは、過剰な支援をしない等）
 - ・ 環境づくり、指示・説明、授業づくり・・・等
- 生徒への助言の仕方についてはヒントがあった。

- ケース会の大切さがわかった。
- これからの見通しを本人だけでなく、保護者も見通しを持つことが大切であることが再確認できた。

【高等学校】

- 「なぜ、このような行動をとるのか？」分からないことがたくさんあったが、研修後は「そうだったのか・・・」と理解することができた。これまでと違った見方と対応ができるようになった。

(4) 専門指導員派遣事業実施後、校内体制や職員の意識はどのように変わりましたか。

【小学校】

- 二次的な不適応を引き起こすことがないように、話させようという働きかけはしないという共通の視点に立ち、わざと話さないのではなく、話そうとしても話せないという共通理解ができたところ。
- 共通理解し、以前から引き続き、協力体制をとっている。
- いつも見ている気づきにくい児童の成長や変化を教えてもらうことができ、支援に役立てることができた。
- 多動傾向のある児童への理解が深まった。
- 保護者や相談機関との連携が密になった。
- 担任が指導する以外に、教頭が支援を要する児童の指導に当たるようにして、個別指導を進めている。個別の指導時間を確保してきた。
- ひまわり学級（特別支援学級）での支援の方法は、通常学級にも通じる大切な支援であるという意識ができてきた。取り入れようという姿勢がみられる。
- 専門的な立場から指導のあり方をアドバイスしていただき、先を見通した指導の必要性を再認識した。

【中学校】

- 本人の支援を考えていく上で、本人だけに焦点を当てるのではなく、クラス全体のスキルを高めたり、ソーシャルスキルトレーニングを計画的に実施したりするなどを共通理解した。また、本人や保護者との人間関係の構築を高めていけるように、より意識して対応に努めている。
- 今回は、校内体制や職員の意識が関わる内容ではなかった。
- 現在軽度知的障害の生徒2名が在籍して、特別支援教育に取り組んでいるが、教職員個々の支援を振り返り、個に応じた適切な支援の必要性を感じた。

また、発達障害を伴う中度知的障害の新入生の障がいの理解や具体的なスキルを示していただいたとき、これまで以上に受入れ準備を組織的・継続的に行わなければならないと感じた。特に進路指導、自立支援の重要性を認識した。

- ケース会を開くにあたり、やすらぎ教室や支援センターの方々や本校のスクールカウンセラーとともに行うことができた。
 - ・ 担任一人が抱え込むことのないように、校内での支援体制を整えていくことの大切さを理解した。

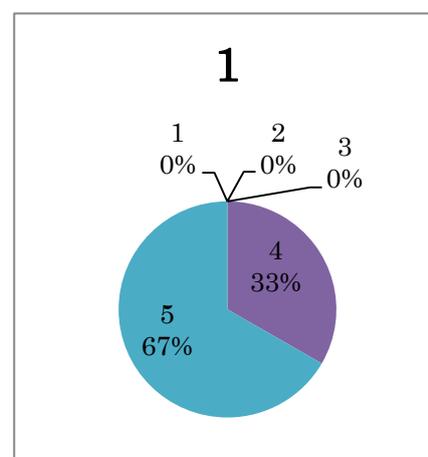
【高等学校】

- 毎年、御指導いただき、特別支援教育に対する教員の意識は高まり、理解は進んでいる。

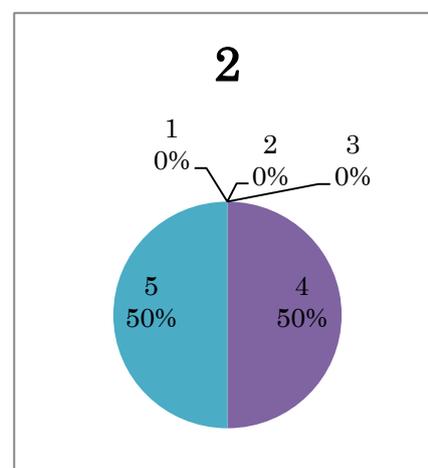
2 専門指導員派遣事業を活用されて、(1) から (7) についてどのように感じていますか。あてはまる番号に○をしてください。

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| 1 まったくあてはまらない | 2 あまりあてはまらない | |
| 3 どちらでもない | 4 少しあてはまる | 5 とてもあてはまる |

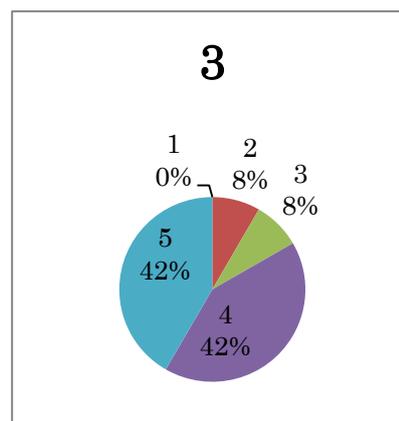
(1) 学校の考え、要望をよく聞いてもらえた



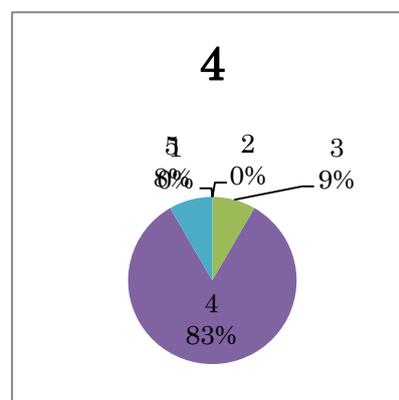
(2) 園児・児童生徒に対する理解が進んだ



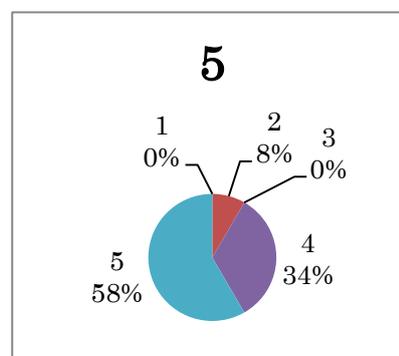
(3) 発達障害などの専門的理解が進んだ



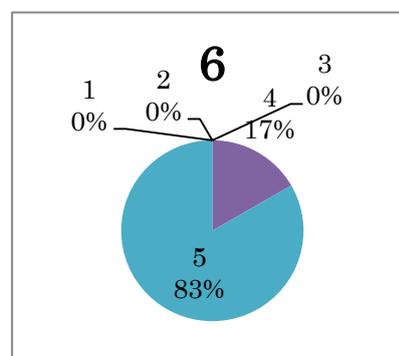
(4) 保護者や子どもに対する理解が進んだ



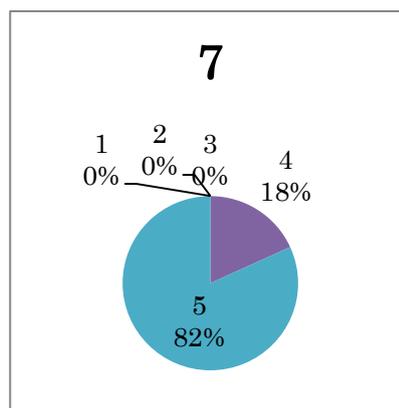
(5) 今後の見通し、展望をもつことができた



(6) 相談を受けてよかった



(7) またこの事業を活用したいと思う



3 専門指導員派遣事業全体を通して、お気づきになったことや、本校に対するご要望等がありましたら、自由にお書きください。

【小学校】

- 専門指導員の先生には、パワーポイントの資料だけでなく、多くの資料を準備していただき、大変ありがたかったです。
- 学校側の要望をしっかりと聞いていただき、大変良い事業だと感じている。3年間継続して派遣をお願いしたが、毎回有意義な時間を持ち、役に立った。
- 支援を必要とする児童が多いので、今後も指導をお願いします。

【中学校】

- 事前に生徒の実態や支援内容を説明したり、学校生活の様子を観察していただいたりする時間をもってくださいありがとうございました。今後も近隣校でもありますので、度々、ご相談やご指導をいただきやすいシステムをお願いできればと思います。よろしく願いいたします。
- ご多用の中、この度の本校の要請にすぐに対応していただき、学校長をはじめ職員一同感謝しております。

専門指導員の先生による講話は、特別支援教育現場の視点から障がいの特性とその効果的な指導法や支援方法を具体的でわかりやすく、大変役に立ちました。特に、進路を見据えて小中高と継続して指導することの重要性、保護者の願いを聞き、学校から情報提供をしながら連携して自立支援をすることが大切と理解できました。

今後は、進路指導や就学支援についての研修をしたいと考えます。

また、新入生が入学後にも専門指導員派遣事業を活用させていただき、指導助言をいただきたいと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- 校内での支援体制の大切さや組織として機能することの意義はよくわかっ

たので、具体的な手だてに着手できるような支援をいただけたらありがたいと思います。

- 学校へ登校できない生徒への支援として、学校外で生徒や保護者との話ができるといいと思います。

【高等学校】

- 専門的な視点から生徒のかかわり方や知識を学ぶことができ、支援の必要な生徒一人一人に応じた対応法が見えてきたように思います。専門指導員の先生には、事前の打ち合わせより熱心に御指導いただきました。相談のケースでは、知らない生徒の実態をピタッと当てられるのが、大変驚きました。また、本校の実情を理解していただき、ニーズに適した研修を組んでいただきました。

2年にわたり本校の特別支援教育に御示唆をいただき、ありがとうございました。今後とも御指導のほど、よろしく願いいたします。